

令和 6 年度共生社会を実現する教育研究セミナー 実施要項

1 目 的

特別支援教育について、社会のニーズが高まっているなか、特別支援学校や小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒数は、令和 4 年度は平成 24 年度に比べそれぞれ 1.2 倍、2.1 倍の増加となっている。また、小・中・高等学校の通常の学級においても、通級による指導を受けている児童生徒が近年増加している。

令和 4 年 12 月に公表された文部科学省の調査においては、小・中学校において推定値 8.8%、高等学校においては推定値 2.2%の割合で通常の学級に、学習面又は行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒が在籍しているという結果が出ている。

そこで本セミナーでは、「令和の日本型学校教育の構築」を目指して、今後の特別支援教育の在り方を確認するとともに、全ての教師に求められる障害の特性等に関する理解と指導方法を工夫できる力を伸ばす。また、通常の学級における特別支援教育に関する基礎的な知識、合理的配慮に関する理解等を深めることで指導力の向上を図る。

2 共 催 独立行政法人教職員支援機構、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

3 参加期間 令和 6 年 11 月 19 日（火）～令和 6 年 11 月 20 日（水）

4 標準定員 200 名

5 実施方法 Web 会議サービスを用いた同時双方向通信によるオンラインセミナー
（「Zoom ミーティング」（株）Zoom ビデオコミュニケーションズ）等を使用）

6 配 信 元 独立行政法人教職員支援機構
〒305-0802 茨城県つくば市立原 3 番地

7 参 加 者

(1) 参加資格

- ア 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等
- イ 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ウ 教職大学院の学生のうち、教職経験のある者

(2) 推薦手続

推薦期限は令和 6 年 10 月 29 日（火）とする。

推薦する機関においては、候補者を取りまとめて「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式 1] により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(3) 参加者の決定

推薦する機関からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、参加者数を調整することがある。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に推薦順位を入力すること。

8 研修内容 別紙「日程表」のとおりとする。

9 その他

(1) 本セミナーでは、「Google Workspace」を利用する。利用に際し、Google アカウントや簡易マニュアルは当機構で作成し、参加者決定時に連絡する。

(2) 本セミナーでは、Web 会議サービス「Zoom ミーティング」((株)Zoom ビデオコミュニケーションズ)を用いて同時双方向通信を行う。参加に当たっては、当該ソフトウェアのインストールやインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Web カメラ等の必要機器を備えた端末を、1 人 1 台準備すること。

(3) 参加者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な参加環境及び参加時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

(4) 本セミナーの参加に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

(別紙)

令和6年度共生社会を実現する教育研究セミナー 日程表

	8:40	9:00	9:20	10:20	10:30	12:00	13:00	15:10	15:20	16:10	16:20
1日目 (11/19)		受付	9:20～10:20(60分) 演習(1)	休憩	10:30～12:00(90分) 講義・演習(2)	昼 休憩	13:00～15:10(130分) ※10分程度の休憩を含む 講義・演習(3)	休憩	15:20～16:10(50分) 演習(4)	事務 連絡	
			セミナーにあたって ～現状と課題について考える～		特別支援教育体制の構築		通常の学級における指導・支援の充実に向けて		リフレクション		
			教職員支援機構		品川区立第一日野小学校 校長 品川区立第一日野幼稚園 園長 大関 浩仁		国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター 総括研究員 井上 秀和		教職員支援機構		
			所属先の現状と課題を確認し、セ ミナー参加にあたっての「問い」の作 成及び交流をとおして、セミナー参 加に対する目的意識を明確にする		学校全体で行うための特別支援教育体制の構築に ついて、その方法や運営を考える ※ 合理的配慮を含む		ユニバーサルデザインの学級経営、特別支援学 級や通級指導教室との連携の理解を深める ※ケース会議、実態把握を含む		セミナーの学びを踏まえ自身の 実践を省察し、意見交換をする ことで、共生社会の実現につい て考える		
2日目 (11/20)		受付	8:50～10:20(90分) 講義・演習(5)	休憩	10:30～12:00(90分) 事例発表(6)	昼 休憩	13:00～16:10(190分)※10分程度の休憩を含む 演習(7)			事務 連絡	
			応用行動分析に基づいた指導・支援		実践から学ぶ指導・支援の在り方		各 地域における実践の共有とこれからの活用 ～これまでのセミナーの学びを通して～				
			教育ファシリテーション研究所 三田地 真実		教育ファシリテーション研究所 三田地 真実 北海道教育大学 杉本 任士 足立区こども支援センター 前川 圭一郎 東京学芸大学 松山 康成						
			児童生徒の困難さに応じた指導・支援の 在り方について、一つの手法の理解を図る		応用行動分析を取り入れ、指導に生かしている小・ 中・高における実践から学ぶ		自身の実践を省察し、情報を共有するとともに、セミナーの学びを踏まえこれからの実践 に生かす				